

言語とその周辺をきわめる -3- ハンガリー語：日本語と似ているところ，違うところ

大島 一（おおしま・はじめ）*

2014年10月21日（火）於，東京外国語大学本郷サテライト

（本日の講義の概要）

1. ハンガリー語とは？《導入およびハンガリー紹介》
2. 日本語と違うところ《その独特な文法》
3. 日本語と似ているところ《日本語で考えても言える文法》
4. 「～たち」の用法《結合の複数》
5. まとめ
6. ハンガリー語およびハンガリー関係で日本語で読める文献その他

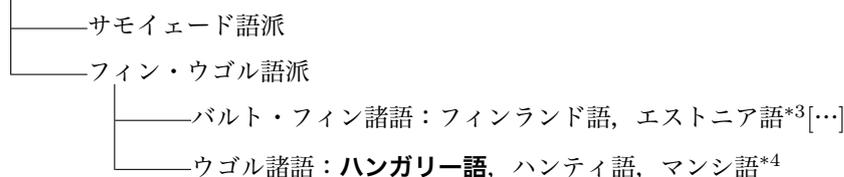
1 ハンガリー語とは？

... 彼等の内なる調べを奏でる楽器は，春のヴァイオリンでもなく，戸外の居酒屋やレストランの砂利を踏む音や皿のふれあう音と混じりあった夏らしい華やかなジブシー楽団の演奏でもない。マジャル^{*1}の散文の最も深く最も真実の音色は，哀切に歌うヴァイオリンではなく，**チェロの響き**である。

（『ブダペストの世紀末：都市と文化の歴史的肖像』ジョン・ルカーチ著，早稲田みか訳より）

- 話者数：およそ 1,000 万人（ハンガリー国外に約 500 万人）
- 文字：ラテン文字（a, b, c, …）を使用^{*2}
- 語族：ウラル語族フィン・ウゴル語派

ウラル語族



* 東京外国語大学非常勤講師（担当：「初級ハンガリー語」），（同大学）アジア・アフリカ言語文化研究所研究機関研究員
hoshima@aa.tufs.ac.jp

*1 自称は **magyar** 「マジャル」。Hungary 「ハンガリー」は他称である。国名の自称は Magyarország（マジャロルサーグ）。

*2 宗教はキリスト教（カトリックが6割，プロテスタントが3割）

2 日本語と違うところ

2.1 音声的特徴

1. 発音に関して

- ウムラウト母音：ü, ú, ö, ó *⁵
- 特徴的な子音：ty[c], gy[j] (硬口蓋破裂音/palatal plosive)。

2. 母音調和 (vowel harmony)

タイプ	母音			例
後舌母音系	u	o	a	<i>hajó</i> 「船」, <i>vár</i> 「待つ」
前舌母音系	i	e		<i>étterem</i> 「レストラン」
円唇母音系	ü	ö		<i>tüdő</i> 「肺」, <i>örül</i> 「喜ぶ」

2.2 形態的特徴

1. 動詞の不定・定活用

- (1) a. *Egy könyvet olvas-ok.*
不定冠詞 本を 読む-不定活用 (1 単)
私は本を読んでいる。
- b. *A könyvet olvas-om.*
定冠詞 本を 読む-定活用 (1 単)
私はその本を読んでいる。
- (2) a. *Szeret-sz engem.*
愛する-不定活用 (2 単) 私を
君は私を愛している。
- b. *Ő szeret téged.*
彼 (女) 愛する-不定活用 (3 単) 君を
彼 (女) は君を愛している。
- c. *Szeret-ed őt.*
愛する-定活用 (2 単) 彼 (女) を
君は彼 (女) を愛している。
- d. *Ő szeret-i Gábort.*
彼 (女) 愛する-定活用 (3 単) ガーボルを
彼 (女) はガーボルを愛している。
- (3) *Szeret-lek.*
愛する-1 人称単数《主語》→2 人称《目的語》

*5 「”」(ダブルアキュートアクセント)が見られるテキストは、まずハンガリー語だと認定できる。

(私は君を) 愛している。

2. 受動形態素 (-t)atik/-t)etik) の不使用*6

- (4) a. ?*Gábor megöl-etik Éva által.*
 ガーボルは 殺す-受動 (3 単) エーヴァ ~によって
 ガーボルはエーヴァによって殺される。← 現代ハンガリー語ではまず使われない。
- b. *Gábort megöli Éva.*
 ガーボルを 殺す エーヴァは
 ガーボルは, エーヴァが殺す。← 形式的には能動文だが, 意味的に受動文に近い。

3 日本語と似ているところ

3.1 後置詞型言語

後置詞や格語尾は名詞の後ろに置く。以下では後置詞の *alatt* 「~の下に」と、格語尾の *-ban/-ben* 「~の中に」はそれぞれ名詞である *hajó* 「船」の後ろに置かれる。これらは日本語の格助詞 (てにをは) と似ている。

- (5) a. *ház alatt*
 家 ~の下に
 家の下に
- b. *hajó-ban*
 船~の中に
 船内で

3.2 語順規則

1. 修飾語は被修飾語の前に。以下、形容詞や過去分詞が名詞を修飾する例。

- (6) a. *szép alma*
 きれいな リンゴ
 きれいなリンゴ
- b. *töltött káposzta*
 詰めた キャベツ
 ロールキャベツ

2. ※動詞の直前に最も重要な情報 (フォーカス) が来なければならない。

- (7) *Ki dolgozik itt? - Endre dolgozik. (*Dolgozik Endre)*
 誰が 働いている ここで - エンドレが 働いている

*6 ジョークで, A *-tatik/-tetik* használhatik. 「(受動形態素の) “-tatik/-tetik” は使われない。」というものがある (このとおり, 非文法的ではない)。また, 現代ハンガリー語でも必ず使われる受動形態素の例が *születik* 「生まれる」である。

ここで誰が働いているの？ - エンドレが働いている。

3. !日本語と似たような語順のものが多い(以下, ある自己紹介文)

- (8) *Az egyetemet '92-ben fejeztem be, magyar-angol szakon. Utána Budapestre költöztem, jelenleg is ott élek, nagymamámnál lakom.*
 定冠詞 大学を 1992年に 終えた(1単) 接頭辞 ハンガリー-英語 学科にて その後
Budapestre költöztem, jelenleg is ott élek, nagymamámnál lakom.
 ブダペストへ 引っ越した 現在 ~も そこで 生活している 祖母のところで 住んでいる
Egy nyelviskolában tanítok magyar nyelvet külföldieknek.
 不定冠詞 語学学校で 教える ハンガリー 語を 外国人たちに
 大学は 92年に卒業, ハンガリー-英語学科です。その後ブダペストへ引っ越し, 今もそこで,
 祖母のところに住んでいます。とある語学学校で外国人たちにハンガリー語を教えています。

4 「～たち」の用法

「日本語と似ているところ」に加えて, 「～たち」を紹介する。日本語ではある名詞が複数存在するといえる時に「～たち」(または, 「～ら」)を付けることができる。これに対して, ハンガリー語では通常の複数(-ok/-ek/-ök)の他に, 「結合の複数(associative plural)」と呼ばれる別の形式(-ék)*7が存在する。

- (9) a. *tanár-ok*
 先生-複
 先生たち
- b. *Péter-ék*
 ペーテル-結合. 複
 ペーテルたち (=ペーテルとその家族, または友人, 仲間)

この「～たち」は, 日本語, ハンガリー語同様に, 一般に「人」に関するものに付く。しかし, ハンガリー語では, 上例の *Péter-ék* 「ペーテルたち」はペーテルとその敵のことを意味することは出来ないし*8, 「ペーテルたち」のメンバーが全体の行動を共にする必要はない。

- (10) a. *Péter-ék együtt érkez-tek.*
 ペーテル-結合. 複 一緒に 到着する-過去.3 複
 ペーテル (と彼の仲間) たちは一緒に到着した。
- b. *Péter-ék különböző időben érkez-tek.*
 ペーテル-結合. 複 異なる 時間に 到着する-過去.3 複
 ペーテル (と彼の仲間) たちは異なる時間に到着した。

*7 ハンガリー語では *heterogén többség* または *heterogén többes szám* という。意味は「異種の複数(性)」。-ékは分析すると, 所有マーカーの一つである -é「～のもの」に通常の複数マーカーである -kが付いたものに由来するが, 今日ではその-ékの用法においてこうした意味関係を感じることはない (BALOGH, 2000:185)。

*8 日本語では「ヴェローナの街頭でロミオたちは戦った。」における「ロミオたち」は「キャピュレットとモンタギュー両家」と言えないこともない。

(MORAVCSIK, 2003:471)

CORBETT (2000) では Animacy Hierarchy 「有生性の階層」から見たハンガリー語の通常の数と結合の複数について以下のように図示している。このように結合の複数が作られるのは親族名称 (kin) や人 (human) に限られるということになる*9。

	1	>	2	>	3	>	kin	>	human	>	animate	>	inanimate
通常の数					■ ■		■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■
結合の数	■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■				

図1 ハンガリー語の通常の数および結合の数の範囲

(CORBETT, 2000:104)

4.1 ブルゲンラント方言のデータ

標準ハンガリー語の結合の複数のマーカーである *-ék* は「人 (に関連するもの)」に付けられ、その反対に動物 (animate) や無生物 (inanimate) には付けられない。ここでは、オーストリアのブルゲンラント州*10に居住するハンガリー語話者たちが話すハンガリー語方言、すなわち、ブルゲンラント方言*11ではどうかを、調査結果のデータ*12をもとに CORBETT (2000) の有生性の階層に沿ってまとめたものを以下に示す (次頁の表1)。なお、ブルゲンラント方言における結合の複数は *-iék* として実現される*13。

これを見る限り、標準ハンガリー語との違いは2つある。すなわち、ブルゲンラント方言では、1) anyáim-iék 「母親たち」は複数所有形 (anyá-i-m 「私の母 (複数)」) に結合の複数 (*-iék*) が付く (標準語は単数所有 (anyám) に結合の複数 (*-ék*)), 2) 非人間にも結合の複数が付けられる。以下ではこの点について詳しく見ていく。

*9 「人」に関することばでも、ember 「人」に結合の複数を付けることは出来ない (*ember-ék)。もちろん、通常の数も可能である (ember-ek 「人びと」)。(CORBETT, 2000:102)

*10 ブルゲンラント (Burgenland, ハンガリー語名は Örfvidék) は第一次世界大戦後、1921年よりハンガリー領からオーストリア共和国の領土となった州である。人口は約28万人、州都はアイゼンシュタット (Eisenstadt/Kismarton)。2001年の国勢調査時点でハンガリー系住民は6,641名 (約2.4%)。

*11 ハンガリー語の方言は大きく1) 西部方言 (nyugati; オーストリア地域を含む)、2) ドナウ以西方言 (dunántúli)、3) 南部方言 (déli; 旧ユーゴスラヴィア地域を含む)、4) パロツ方言 (Palóc; スロバキア地域を含む)、5) ティサ方言 (Tisza)、6) 北東部方言 (északnyugati)、7) メゼーシェーグ方言 (Mezőség)、8) 東部方言 (keleti; セーケイ Székely, チャーンゴー Csángó を含む) に分けられる。ハンガリーの方言に関しては、オーバーヴァルト生まれでハンガリー方言学を代表する一人、Imre Samu (イムレ・シャム) による [4] が有名。最近の方言研究では [6] も参照。

*12 具体的な調査内訳について。ブルゲンラント州の中でもハンガリー人コミュニティの最大地域であるオーバーヴァルト市 ([独] Oberwart/ [洪] Felsőőr) に住む3名とその近隣の村であるウンターヴァルト ([独] Unterwart/ [洪] Alsóőr) に住む2名の計5名にインタビューした。年代はオーバーヴァルトの1名が20代の若者であることを除き、他4名は50代以上である。この年配4名の最大公約数的な結果が表1である。なお、オーバーヴァルトの20代若者によると、表1におけるブルゲンラント方言の *-iék* の付加は「人」のみに限り、その答えはほぼ標準ハンガリー語の *-ék* と同様のものではなかった。これも若者に従来のブルゲンラント方言の継承がなされていないことを証明する一例であろう。

*13 実際の *-iék* の表記は *ië* の下に繋ぎ音である *tyi* が付く。なお、これが標準ハンガリー語の結合の複数 *-ék* である理由として、調査地のひとつであるウンターヴァルト村では標準ハンガリー語と同じく *-ék* と発音されることが挙げられる。

表1 標準ハンガリー語とブルゲンラント方言における結合の複数の使用状況

	word	STANDARD	BURGENLAND
PERSON		<i>Péter-ék</i>	<i>Ernő-iék</i>
KIN	anya 「母」	<i>anyám-ék</i>	<i>anyáim-iék</i>
HUMAN	barát 「友人」	<i>barát-ék</i>	<i>barátaim-iék</i>
ANIMATE	kutya 「犬」	<i>*kutyá-ék</i>	<i>kutyáim-iék</i>
INANIMATE	szemüveg 「眼鏡」	<i>*szemüveg-ék</i>	<i>szemüvegeim-iék</i>

4.2 形式の問題

ブルゲンラント方言では固有名詞を除き、すべて、「名詞+複数所有形+結合の複数」という形式である。

- (11) a. *anyá-i-m-iék*
 母-複-所有.1 単-結合. 複
 私の母親たち (=母, 祖母, 曾祖母…)
- b. *?anyá-m-iék*
 母-所有.1 単-結合. 複
 私の母親たち

インフォーマントによると、単数所有に結合の複数がついた形式、すなわち標準ハンガリー語における単数所有+結合の複数である *anyám-ék* のような形式は使わず、この複数所有+結合の複数の形式のほうがより自然であるとのことであった。

なお、*anyá-i-m-iék* の意味「私の母親たち」は母親とその仲間という意味ではなく、「母 (anya)」と呼び名が付くもの全ての総称ということであり、従って、「母, 祖母, 曾祖母…」ということになる。

4.3 非人間への付加

標準ハンガリー語では結合の複数人を人以外には付けられないが、ブルゲンラント方言では可能である。その際、「私有」という概念の元での条件が課せられる。なお、こちらも「複数所有+結合の複数」という形式をとり、単数所有より自然である。以下、非人間でその他の例を紹介する。

- (12) a. *macská-i-m-iék*
 猫-複-所有.1 単-結合. 複
 私の猫たち
- b. *cipő-i-m-iék*
 靴-複-所有.1 単-結合. 複
 私の靴たち
- c. *haj-ai-m-iék*
 髪-複-所有.1 単-結合. 複
 私の髪たち

d. *szem-ei-m-iék*

目-複-所有.1 単-結合. 複

私の目たち

e. *föld-jei-m-iék*

土地-複-所有.1 単-結合. 複

私の土地たち

こうしてみると、ブルゲンラント方言の結合の複数は、非人間においても身近なものの「私有」、もしくは身体部位に関するものであれば付加可能であると言える。

また、日本語の「～たち」も、(12)における例の日本語訳をみると「私のかわいい～たち」のような意味合いでは使えなくもない。標準ハンガリー語でもこうした意味ニュアンスで人以外のものにも結合の複数 *-ék* が使えるかもしれない。

5 まとめ

● ハンガリー語の文法について

- 違うところ：発音（ウムラウト，硬口蓋破裂音），動詞の活用（不定・定活用）
- 似ているところ：後置詞型，修飾語（形容詞）／被修飾語（名詞），動詞直前にフォーカス要素

● 「～たち」の用法

- 日本語の「～たち」に対し，ハンガリー語では（通常の）累加の複数 *-ok/-ek/-ök* と結合の複数 *-ék*
- 日本語の「～たち」とハンガリー語の結合の複数 *-ék* は“人”に付く
- ただし，ブルゲンラント方言の *-iék* は“人”以外にも付く
- ！日本語でも「わたしのかわいい～たち」と非人間でも言えるかもしれない

参考文献

- [1] BALOGH Judit 2000 A névragozás, in KESZLER, Borbála (ed.) *Magyar grammatika*, Nemzeti Tankönyvkiadó, Budapest, 183-208.
- [2] CORBETT, Greville G. 2000 *Number*, Cambridge University Press.
- [3] IMRE Samu 1971a A felsőöri nyelvjárás, *Nyelvtudományi értekezések 72.sz.*, Akadémiai kiadó, Budapest.
- [4] IMRE Samu 1971b *A mai magyar nyelvjárások rendszere*, Akadémiai kiadó, Budapest.
- [5] IMRE Samu 1973 *Felsőöri tájszótár*, Akadémiai kiadó, Budapest.
- [6] KISS Jenő (ed.) 2001 *Magyar dialektológia*, Osiris kiadó, Budapest.
- [7] MORAVCSIK, Edith 2003 A semantic analysis of associative plurals, *Studies in Language 27*, 469-503.
- [8] ジョン・ルカーチ著，早稲田みか訳 1991 『ブダペストの世紀末：都市と文化の歴史的肖像』，白水社。
- [9] 大島 一 2012 「ことばを捨てて去る人々—オーストリア・ブルゲンラント州のハンガリー語方言事情」，『Field+ (フィールドプラス)』No.9, 22-23, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所。*14

*14 <http://repository.tufs.ac.jp/bitstream/10108/74397/1/field-9p22-23.pdf>

6 ハンガリー語およびハンガリー関係で日本語で読める文献, その他

6.1 文法書, 語学書

『改訂版 ゼロから話せるハンガリー語』岡本真理著, 2014年, 三修社 会話中心の実用的な入門書。よって、足りない所もあるため、より深く学ぶ為には以下が必読。

『世界の言語シリーズ8: ハンガリー語』岡本真理著, 2013年, 大阪大学出版会 ハンガリー語文法を包括的に捉えた語学書の決定版。練習問題も充実、なによりも現地体験者による数多くのコラムが興味深い。

『ハンガリー語のしくみ』大島一著, 2009年, 白水社 寝転んで読める語学書『ことばのしくみ』シリーズのハンガリー語版。初心者ターゲットであるはずなのだが、多分に既習者が簡単に文法をおさらいするのに適していると思われる。

6.2 歴史, 文化

『図説ハンガリーの歴史』南塚信吾著, 2012年, 河出書房新社 ハンガリー史研究の大家による概説書。通史として読めるが、特に近現代の波にさらされた激動のハンガリーの記述が秀逸。

『図説ブダペスト都市物語』早稲田みか文, チョマ・ゲルゲイ写真, 2001年, 河出書房新社 美しい写真とともにブダペストの歴史が恐ろしいほど詳細に分かってしまうという、ブダペスト好きなら必須の本。個人的には1838年の大洪水の記念レリーフの前に立つ著者が写った写真がおすすめ。

6.3 映画, DVD

『悪童日記』アゴタ・クリストフ*¹⁵による原作の映画化。監督はサース・ヤーノシュ (Szász János)。日本でも2014年10月3日に公開。舞台はオーストリアとの国境に近いハンガリーのとある村。第二次大戦期間に強く生きる双子が極めて客観的に(日記に)綴った情景が衝撃的。http://akudou-movie.com

『ハンガリアン・フォークテイルズ』, 監督: マリア・ホルヴァット, ナジ・ラヨシュ ハンガリーの国営テレビで長年愛されてきた番組“Magyar népmesék”から13編を収録。大変に素敵。話も示唆に富む。

6.4 民族音楽, 民族舞踊

『ハンガリー音楽の魅力ーリスト・バルトーク・コダーイー』横井雅子著, 2006年, ユーラシア選書

踊り部(おどりべ) 東京近郊の民族舞踊愛好家によるハンガリー民族舞踊グループ。定期的なハンガリー民族舞踊講習会を開催。http://odoribe.exblog.jp

*¹⁵ 本名は KRISTÓF Ágota (クリシュトーフ・アゴタ)。1935年, チクヴァンド (Csikvánd, ジェール・モション・ショプロン県 (Győr-Moson-Sopron megye)) 生まれ。幼少期をケーセグ (Kőszeg) で過ごし, ソンバトヘイ (Szombathely) で高校卒業。その後, 1956年のハンガリー動乱の際に夫と幼い娘と共にスイスはヌーシャテルに亡命した。ヌーシャテルでは長らく時計工として働いていた。著作活動当初は母語であるハンガリー語で書いていたが, その後フランス語を習得, フランス語での執筆を開始する。処女作品『悪童日記』(Le Grand Cahier, 1986年)が成功し, 世界中の言語で翻訳されることとなった(日本語では, 堀茂樹訳で早川書房から出版)。「ヨーロッパ文学のためのオーストリア国家賞」(2008年, オーストリア), 「コシュート賞」(2011年, ハンガリー) など受賞。2011年没。